

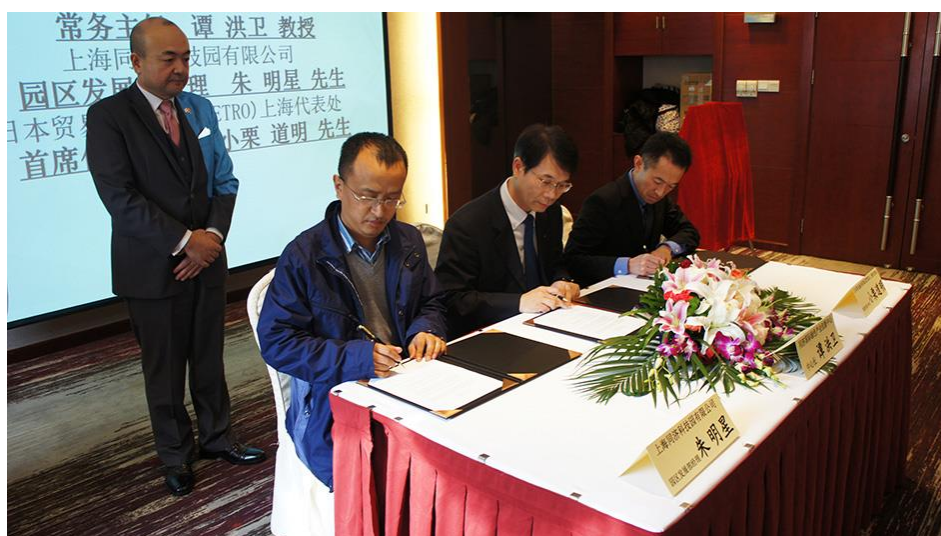
「同济国际绿色产业创新中心」が創設される



■ 概要

2015年12月25日午後2:00より、上海同济科技园有限公司、同济大学绿色建筑及新能源研究中心、JETRO 上海代表処の三方による MOU 締結が締結され、それを受けて日資企業节能环保推進研究会、同济国家大学科技园有限公司、同济大学绿色建筑及新能源研究中心の三方による「同济国际绿色产业创新中心」設立の調印式がおこなわれました。

その後、新たに設立された「同济国际绿色产业创新中心」と民間企業である美埃(中国)環境浄化有限公司、そして地方自治体を代表し武漢市省エネ協会が、それぞれの二方 MOU 締結を行いました。



■ MOU 締結者のご紹介

在上海日本国総領事館領事:	片山和之総領事
同济大学绿色建筑及新能源研究中心常務主任:	譚洪衛教授
上海同济大学科技园有限公司副總經理:	付 強氏
上海同济科技园有限公司園区發展部經理:	朱明星氏
武漢市省工本協会副主任:	肖旭東氏
美埃(中国)環境净化有限公司總經理:	張昕氏
JETRO 上海代表処所長:	小栗道明氏
日資企業節能環保推進研究会代表世話役:	大貫 勝氏



■ 同済国際緑色産業創新中心設立調印式 式次第

○日時：2015年12月25日(金) 14:00-

○場所：同済君禧大酒店 3階 會議室3

(住所：楊浦区彰武路 50 号※四平路同済大学正門対面)

○次第：

1. 開会／来賓挨拶

2. 調印式

(1)MOU 調印①(運営協力に関する覚書) ※趣旨等に関しましては別紙をご参照下さい。

【同済大学緑色建築及新能源研究中心、上海同済科技园有限公司、JETRO 上海代表処】

<挨拶(スピーチ)>上海同済科技园有限公司、JETRO 上海代表処

(2)MOU 調印②(設立に関する覚書)

【同済緑色建築及新能源研究中心、上海同済科技园有限公司、日資企業節能環保推進研究会】

(3)「同済国際緑色産業創新中心」看板の除幕

<挨拶(スピーチ)>日資企業節能環保推進研究会

(4)MOU 調印③(事業への協力に関する覚書)

【同済国際緑色産業創新中心、美埃(中国)環境浄化有限公司】

【同済国際緑色産業創新中心、武漢省エネ協会】

<挨拶(スピーチ)>MayAir 中国、武漢省エネ協会

(5)記念撮影

3. 閉会

■ 参加企業及び団体のご紹介

同済大学緑色建築及新能源研究中心は 2003 年に設立され、同済大学土木、建築、計画、HVAC、熱エネルギーは、材料、環境工学などの優位性学科及び研究資源を一体に融合して学科を交差する研究プラットフォームです。

同済科技园は、全国で唯一の国家級の優秀な大学科技园と国家級の優秀な科学技術企業孵化器を擁する園區を管理しています。

「創業苗圃-孵化器-加速器-産業クラスター」の 4 位一体の企業サービス体系により、省エネ・環境保護などのハイテク分野の中小企業の発展を推進する役割を果たしています。

JETRO は日本政府から出資して設立され、貿易と投資を促進する政府機関です。日本企業が海外で順調に業務活動を展開することができるよう支援サービスを提供する組織です。

日資企業節能環保推進研究会は、中国にて省エネ・環境分野で活躍している日本企業により構成された組織です。メンバー企業の省エネ・環境技術と経験を All-Japan 体制で、中国にワンストップサービスとして提供し、中国の省エネ・環境保護産業の発展を促進することが目的です。



■ 同済国際緑色産業創新中心とは？

この中心(センター)は、もともと同済大学緑色建築及新能源研究中心の譚教授のサポートを頂きながら活動を続けて来た「日資企業節能環保推進研究会」が日資企業(ジャパンチーム)の母体となって、同済国家大学科技园、同済大学緑色建築及新能源研究中心と協力して、中国に於ける環境・省エネ問題に積極的に取り組んでいく為の実質的な活動組織として設立されることになりました。

■ 同済国際緑色産業創新中心の活動

「同済国際緑色産業創新中心」を設立した後、日中双方は以下の業務内容を主な活動とする予定です。

- (1) 省エネ・環境保護分野で情報プラットフォーム事業: 政策、技術、市場の動的な情報、業界の研究報告を発表する。
- (2) コンサルティング業務: 環境対策と省エネ実施計画の制定、項目実施運営管理、金融革新業務など
- (3) 省エネ環保技術の導入: 技術導入、移転、マーケティング、代理販売など
- (4) 地域エネルギー環境モニタリング業務: 政府及び企業の監視のプラットフォーム、データ分析、ソリューションの提供等
- (5) 省エネ・環境保護分野草創企業孵化: 技術や資金援助企業成長仲間業務など。



一例を挙げると、旭化成分離膜は日資企業節能環保推進研究会の主要会員であります。彼らグループは化学をはじめ、繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、医薬・医療など広範な事業をグローバルに展開する日本でも有数の多角化された総合化学企業であります。

その中の一企業である旭化成分離膜装置（杭州）（2005年設立）は、北米の上水道市場で5割以上のシェアをもち、中国でも多くの実績をもつ高性能水処理膜「マイクロザ」の生産、販売を行うとともに、工業用・廃水の高い処理技術を保有し、中国の工場に対して水処理に関する各種のソリューション（設備製作、メンテナンス、運転管理、コンサルタント業務等）を提供しています。

また、新しく開発された下水中に含まれるリンを回収し、再資源化する技術の中国での展開を同济綠色産業创新中心と連携し推進していく予定となっています。